

# SG/SF 250 スイッチの入力および出力 インターフェイスの帯域幅設定

## 目標

帯域幅はネットワーク 経路を通して転送することができるデータの量を示します。帯域幅設定は着信トラフィックおよびアウトゴーイングトラフィックのために区別することができます。入力 インターフェイスは出力 インターフェイスがアウトゴーイングトラフィックが付いているインターフェイスを示す間、着信トラフィックが付いているインターフェイスを示します。

この資料の目標は SG250 および SF250 スイッチの帯域幅設定を行う方法を説明することです。

## 適当なデバイス

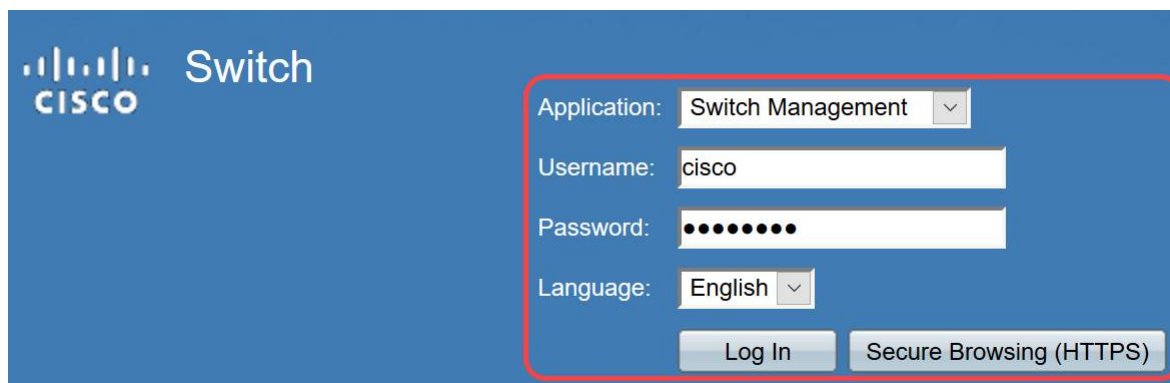
- SF250
- SG250
- SG250X

## [Software Version]

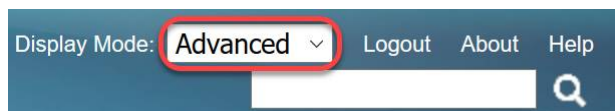
- 2.4.5.71

## 設定 帯域幅設定

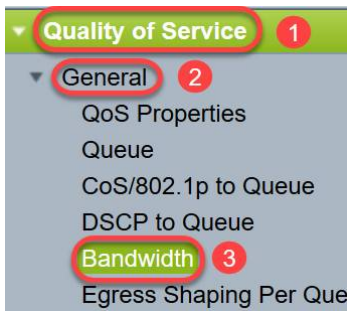
ステップ 1. スイッチの Web コンフィギュレーションユーティリティへのログイン。



ステップ 2. ページの上にある表示 モードのドロップダウン メニューから『Advanced』を選択して下さい。



ステップ 3. > 一般 > メニューからの帯域幅 Quality of Service ( QoS ) クリックして下さい。



帯域幅 ページは開きます:

帯域幅 表は各インターフェイスのための次のフィールドが含まれています:

- 入力レート制限-入トラフィックは着信トラフィックを示します。有効にされたとき、それは入力 (着信) インターフェイスのためのレトリミットを示します。FE (ファストイーサネット (802.3u)) ポートに関しては割り当てられた帯域幅は範囲に GE (ギガビットイーサネット (802.3z)) ポートのために帯域幅の範囲が範囲 62 である一方 62 - 100,000 キロビット/秒 - 1,000,000 キロビット/秒です。

- ステータス-入力レート制限が有効になるかどうか表示する。

- レートリミット (KBits/sec) -ポートのための入力レート制限を表示する。

- % -総ポート帯域幅で分けられるポートのための入力レート制限を表示する。

- CBS (バイト) -認定バーストサイズ (CBS) はネットワークが受け入れるバイトのデータの入力 インターフェイスのデータの最大バースト サイズです。CBS は 3000 から 19,173,960 バイトの範囲にある場合もあります。

- 出力シェーピング速度-出力 (発信) トラフィックの統計情報を表示します。

- ステータス-出力シェーピング速度が有効になるかどうか表示する。

- CIR (KBits/sec) -認定情報レート (CIR) は出力 インターフェイスのための最大帯域幅を表示する。それはフレームリレー サービスの保証された 帯域幅の量を規定します。これは帯がこの制限を超過するとき渡されるあるが、それは保証されないかどれが CIR レベルの内に帯ことを保証します。FE ポートに関してはシェーピング速度は範囲に GE ポートのために範囲に 64 から 1,000,000 キロビット/秒ある間、64 から 1,00,000 キロビット/秒あります。

- CBS (バイト) -バイトのデータの出力 インターフェイスのデータの最大バースト サイズ。

Entry No.	Interface	Ingress Rate Limit			Egress Shaping Rates		
		Status	Rate Limit (KBits/sec)	%	Status	CIR (KBits/sec)	CBS (Bytes)

ステップ 4.帯域幅設定を行い、『Edit』 をクリックしたいと思うインターフェイスの appropriate オプション・ ボタンをクリックしてインターフェイスを選択して下さい。

<input checked="" type="radio"/>	49	GE1	Disabled	1	Disabled
<input type="radio"/>	50	GE2	Disabled		Disabled
<input type="radio"/>	51	GE3	Disabled		Disabled
<input type="radio"/>	52	GE4	Disabled		Disabled

Copy Settings... Edit...

新しいウィンドウが表示されます。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

\* Ingress Rate Limit: 100 KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

\* Ingress Committed Burst Size (CBS): 128000 Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

\* Committed Information Rate (CIR): 64 KBits/sec (Range: 64 - 1000000, Default: 64)

\* Egress Committed Burst Size (CBS): 128000 Bytes (Range: 4096 - 16762902, Default: 128000)

Apply Close

ステップ 5. 少数またはすべての個別のポートのバンドルの帯域幅設定を加えたいと思う場合特定のポートの帯域幅設定を加えるか、またはラグ (リンク 集約) をクリックしたいと思う場合インターフェイスを『Port』を選択して下さい。それからその隣でドロップダウン リストから特定の値を選択して下さい。

注: ラグ設定を行うためにポート管理 > リンク 集約 > メニューからのラグ管理にナビゲートできます; そのラグにポートを編集し、追加してほしいラグを選択して下さい。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

\* Ingress Rate Limit: 100 KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

\* Ingress Committed Burst Size (CBS): 128000 Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

\* Committed Information Rate (CIR): 64 KBits/sec (Range: 64 - 1000000, Default: 64)

\* Egress Committed Burst Size (CBS): 128000 Bytes (Range: 4096 - 16762902, Default: 128000)

Apply Close

着信トラフィック 帯域幅を定義したいと思う場合ステップ 6. ( オプションの ) チェック 入力レート制限チェックボックス。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

Ingress Rate Limit:  KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

Ingress Committed Burst Size (CBS):  Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

Committed Information Rate (CIR):  KBits/sec (Range: 64 - 1000000, Default: 64)

Egress Committed Burst Size (CBS):  Bytes (Range: 4096 - 16762902, Default: 128000)

Apply Close

注: ステップ 6 の入力レート制限をチェックしなかったら [ステップ 9](#) にスキップして下さい。

ステップ 7. 入力レート Limit フィールドで値を入力して下さい。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

Ingress Rate Limit:  KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

Ingress Committed Burst Size (CBS):  Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

Committed Information Rate (CIR):  KBits/sec (Range: 64 - 1000000, Default: 64)

Egress Committed Burst Size (CBS):  Bytes (Range: 4096 - 16762902, Default: 128000)

Apply Close

注: 2 つの入力レート制限フィールドはインターフェイスの種類がラグであると現われません。

ステップ 8. 入力認定バーストサイズ (CBS) フィールドで値を入力して下さい。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

Ingress Rate Limit:  KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

Ingress Committed Burst Size (CBS):  Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

Committed Information Rate (CIR):  KBits/sec (Range: 64 - 1000000, Default: 64)

Egress Committed Burst Size (CBS):  Bytes (Range: 4096 - 16762902, Default: 128000)

Apply Close

注: 入力レート制限および入力認定バーストサイズ (CBS) フィールドは入力レート制限チェックボックスが有効になるとき自動をデフォルト値と読み込まれて得ます。

アウトゴーイングトラフィック帯域幅を定義したいと思う場合ステップ 9. (オプションの) チェック出力シェーピング速度チェックボックス。シェーピング速度は出力インターフェイスで許可される最大帯域幅を示します。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

Ingress Rate Limit: 150 KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

Ingress Committed Burst Size (CBS): 150000 Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

Committed Information Rate (CIR): 64 KBits/sec (Range: 64 - 1000000, Default: 64)

Egress Committed Burst Size (CBS): 128000 Bytes (Range: 4096 - 16762902, Default: 128000)

Apply Close

注: ステップ 9 の出力シェーピング速度をチェックしなかったら [ステップ 12](#) にスキップして下さい。

ステップ 10. 認定情報レート ( CIR ) フィールドで値を入力して下さい。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

Ingress Rate Limit: 150 KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

Ingress Committed Burst Size (CBS): 150000 Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

Committed Information Rate (CIR): 65 KBits/sec (Range: 64 - 1000000, Default: 64)

Egress Committed Burst Size (CBS): 128000 Bytes (Range: 4096 - 16762902, Default: 128000)

Apply Close

ステップ 11. 出力 認定バーストサイズ ( CBS ) フィールドに必要な値を入力して下さい。

注: この量は一時的に許可された制限を越える帯域幅を増加しても送信することができます。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

Ingress Rate Limit: 150 KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

Ingress Committed Burst Size (CBS): 150000 Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

Committed Information Rate (CIR): 65 KBits/sec (Range: 64 - 1000000, Default: 64)

Egress Committed Burst Size (CBS): 140000 Bytes (Range: 4096 - 16762902, Default: 128000)

Apply Close

ステップ 12 : [Apply] をクリックして設定を保存します。

Interface:  Port GE1  LAG 1

Ingress Rate Limit:  Enable

Ingress Rate Limit: 150 KBits/sec (Range: 100 - 1000000, Default: 100)

Ingress Committed Burst Size (CBS): 150000 Bytes (Range: 3000 - 19173960, Default: 128000)

Egress Shaping Rate:  Enable

## 設定をコピーして下さい

ステップ 1: 1つのインターフェイスの設定を別またはマルチプルインターフェイスにコピーするために、ソースインターフェイスの Radio ボタンをクリックして下さい。

Bandwidth Table										
Filter: <i>Interface Type</i> equals to <input type="text" value="Port"/> <input type="button" value="Go"/>										
	Entry No.	Interface	Ingress Rate Limit				Egress Shaping Rates			
			Status	Rate Limit (KBits/sec)	%	CBS (Bytes)	Status	CIR (KBits/sec)	CBS (Bytes)	
<input checked="" type="radio"/>	1	FE1	Enabled	100	0.1	654164	Enabled	64	55616	
<input type="radio"/>	2	FE2	Disabled				Disabled			
<input type="radio"/>	3	FE3	Disabled				Disabled			

ステップ 2.設定を『Copy』 をクリックして下さい。

New ウィンドウは現われます:

Copy configuration from entry 49 (GE1)  
to:  (Example: 1,3,5-10 or: FE1,FE3-GE4)

ステップ 3 提供されたフィールドでは、デスティネーションインターフェイスに入して下さい。 同じ設定をマルチプルインターフェイスにコピーするために、カンマが付いているインターフェイスのデスティネーションインターフェイスが範囲を分けて下さい。

Copy configuration from entry 49 (GE1)  
to:  (Example: 1,3,5-10 or: FE1,FE3-GE4)

ステップ 4.設定をコピーするために『Apply』 をクリックして下さい。

Copy configuration from entry 49 (GE1)  
to:  (Example: 1,3,5-10 or: FE1,FE3-GE4)

今 SG250 か SF250 スイッチの設定済みの帯域幅設定が正常にあるはずです。